

札幌静修高等学校野球部



<静修高校野球部の歴史>

女子単学の普通科高校として1922年に開校。2000年、全面共学となり、新世紀に向けて新しい一歩を踏み出す。2000年5月、選手12名で野球部がスタート。2000年秋、初めての公式戦に出場するも5回コールド負け。2008年9月5日、ついに公式戦初勝利。


2009年4月、木無部長が就任し、新体制がスタート。その年の秋から監督に就任。2013年秋季大会にて札幌支部代表となり、初の全道大会出場。2014年春・夏連続の全道大会出場を果たし、全道ベスト8となる。

2020年7月、木無部長が3年ぶりに監督復帰し、新生静修高校野球部として再スタートとなる。

<現在の野球部>

1年生15名、2年生10名の25名で活動しています。4月の入学生は、15名程度を入部予定とし、現在全道大会出場に向けて活動中。練習は、南区にある札幌南シニアの練習場、東区にある小鍛冶球場のグラウンドを借り、野球部専用バスで移動。また、雨天時・冬期間は学校にある室内練習場で基礎練習を含めたトレーニングを実施。2012年7月に室内練習場を改装工事し、バッティング練習を含めた新たに幅広い練習メニューが可能にした。春と夏には約1週間程度、合宿を行い、技術力、体力の強化を図っている。

静修高等学校野球部のポリシー

目 標	全道大会出場、そして甲子園出場！	
顧 問	木無 真人(札幌白石高等学校-北海学園大学 捕手)	
	昭和 54 年 9 月 21 日札幌市生まれ。公民・商業科教諭として、上富良野、旭川商業、旭川北都商業、瀬棚商業、虻田、南茅部高校にて勤務。大小規模校を経験し、多くの生徒に対し学習・生活・進路指導に努めてきた。2009 年より札幌静修高校に赴任し、野球部の監督に就任。	
ス タ ッ フ	(コーチ)河田 洋(札幌白石高等学校-北海学園大学 投手兼内野手)	
部 員 数	25 名(マネージャー3名含む)	

●練習は、札幌南リトルシニア球団球場(南区)、小鍛冶球場(東区)の2球場で練習。



※野球部専用バスで移動しています。



●雨天時・冬期間は学校にある室内練習場でトレーニングを実施。



※2012年に室内練習場を改装工事。

●ウエイトトレーニングと補食を組み合わせた効果的なトレーニングを実施。



※練習中の補食(納豆や卵ごはん等)を提供した体づくり。